

株主・投資家のみなさまへ

## 第36期 年次報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



 **イズミ産業株式会社**  
**JASDAQ**  
証券コード2924



株主の皆様方には、ますますのご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第36期の事業の概況をご報告申し上げるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

食品業界におきましては、食品の安全性の問題が多発し、これまで以上に「安全・安心」を求められる状況であります。

このような状況の中、鶏卵業界におきましては、バイオ燃料需要増の影響等による配合飼料価格の上昇、また国内での鳥インフルエンザ再発への懸念が残っており、厳しい経営環境が続いております。

こういった環境の中で、当社におきましては、販売面においては販売価格改定の実施や販売数量の増加に努め、購買面においては原料買付けによる在庫政策を行い材料費を抑える努力をいたしました。

その結果、当期の業績は前期に比べ大幅に回復しました。当期の期末配当金は、前期より3円増配し1株当たり8円とさせていただきます。

今後につきましては、食の安全・安心がこれまで以上に求められる中で、当社は「安全・安心」な製品の安定供給責任を果たし、お取引先との信頼関係を強化してまいります。

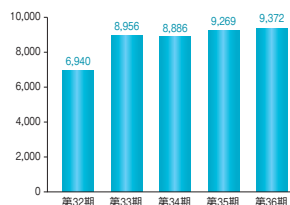
また更なる新規得意先への販路拡大とともに、最良の原料調達と在庫政策を行い、全社員一丸となって業績を向上させるべく努力いたします所存であります。

株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

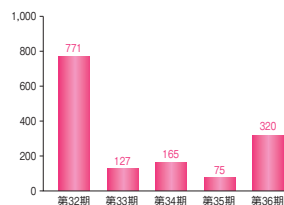
平成20年6月

代表取締役社長 藤井 徳夫

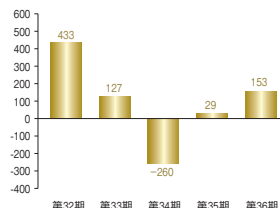
## 売上高（単位：百万円）



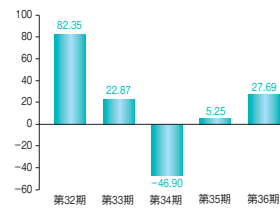
## 経常利益（単位：百万円）



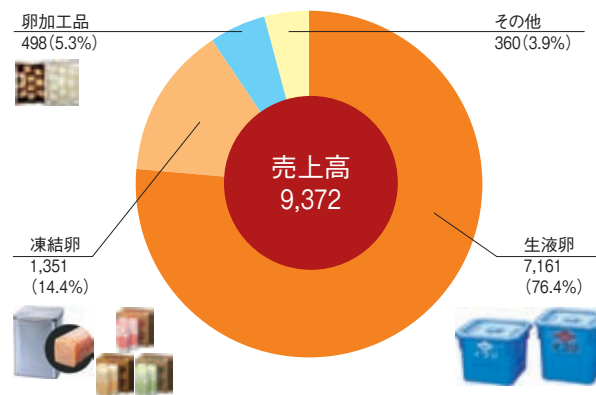
## 当期純利益（単位：百万円）



## 一株当たり当期純利益（単位：円）



## 売上構成（単位：百万円） ※百万円未満は切捨て



## 業績の概況

当期におけるわが国経済は、サブプライム住宅ローン問題に起因したアメリカ経済の減速や株式・為替市場の変動、さらに原油をはじめとする原材料価格の高騰による物価上昇圧力の高まり等により、景気の先行きに不透明感が増してまいりました。

食品業界におきましては、食品の安全性の問題が多発し、「食の安全・安心」に対する消費者の要求は一段と厳しいものとなり、これまで以上に「安全・安心」を求められる状況であり、さらに原油価格高騰に起因して様々な原材料価格が高騰するなど、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、鶏卵業界におきましても、バイオ燃料需要増の影響等による穀物価格の高騰で配合飼料価格が上昇し、また国内での鳥インフルエンザ再発への懸念が依然として残っており、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中で、当社におきましては、主に大手製パンメーカーへの販売が好調に推移し、販売数量が前期比で3.0%の増加となりました。

液卵売上高につきましては、鶏卵相場（東京M基準値）が年度（4～3月）比で9.1%（16円）安となり販売単価は下落したものの、価格改定の実施や販売数量が増加したことから前期比0.5%増の8,512百万円となりました。

加工品売上高については、外食向けの茶碗蒸しベースの販売が好調に推移し売上高は前期比31.7%増の498百万円となりました。

その他売上高は、鶏卵販売の減少により前期比14.5%減の360百万円となりました。

以上の結果、当期の合計売上高は前期比1.1%増の9,372百万円となりました。

損益面については、販売面において販売価格改定の実施や販売数量の増加に努めました。購買面においては、前期に原料が逼迫し材料費が大幅に上昇した状況を踏まえ、当期は積極的な原料買付けによる在庫政策を行い材料費を抑える努力をいたしました。また、経費面においては、販売数量及び原料買付け数量の増加により運賃や保管料といった経費が増加しました。

以上の結果、営業利益は前期70百万円に対し244百万円増の314百万円、経常利益は前期75百万円に対し244百万円増の320百万円、当期純利益は前期29百万円に対し124百万円増の153百万円となりました。

## 今後の見通しと対処すべき課題

今後のわが国の経済見通しといたしましては、原材料価格の高騰による物価上昇圧力が依然として続いていることから、個人消費が低調に推移する懸念があり、また株式・為替市場の変動が企業業績に影響を及ぼすことも予想され、景気減速とインフレ懸念が同居する先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

鶏卵業界におきましては、鳥インフルエンザの再発の懸念や配合飼料価格の上昇もあり、今後の鶏卵市況の動向に注目していく必要があります。

今後の見通しについては、販売面においては、配合飼料価格が上昇を続けている状況から鶏卵相場が高く推移すると予想しており、そのため相場に連動する販売価格も高くなる見込みであります。また、新規得意先の開拓や既存得意先への販売数量の増加に努力してまいります。さらに、茶碗蒸しベースの外食産業への販路を拡大すべく努力してまいります。購買面においては、前述のように鶏卵相場が高く推移すると予想されることから、営業と購買が相互に連携し、販売数量の予測をもとに原料の必要量を予測するスピードを上げ、市況動向を注視しながら最良の原料調達と在庫政策を行うべく努力してまいります。

製造面においては、安全・安心な製品を製造することを第一の目標とし、生産データの分析や工程管理の強化により万全の品質の維持と効率的な工場運営を行うとともに、お客様のニーズに即応できる生産体制を整えてまいります。

研究開発面においては、公的研究機関や大学と連携し、液卵の新製品の開発や新用途の研究を行い、業界競争力の強化や新たな市場の開拓を目指してまいります。

管理部門においては、新たに始まる内部統制報告書制度や四半期報告書制度に対応すべく、社内の体制整備を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 貸借対照表

## 比較貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
I 流動資産	2,258,524	2,523,382
現金及び預金	373,191	637,999
受取手形	67,346	77,767
売掛金	1,256,572	1,396,761
商品	20,532	23,462
製品	409,668	211,786
原材料	66,095	126,635
仕掛品	12,739	11,574
貯蔵品	25,079	26,261
前払費用	7,137	10,979
繰延税金資産	27,600	9,700
その他流動資産	6,961	9,453
貸倒引当金	△14,400	△19,000
II 固定資産	4,197,554	4,131,666
有形固定資産	3,806,354	3,723,050
建物	1,347,489	1,469,823
機械及び装置	435,521	469,992
車両運搬具	7,873	10,173
工具器具備品	21,744	30,074
土地	1,988,307	1,716,987
建設仮勘定	5,418	26,000
無形固定資産	8,730	20,224
ソフトウェア	5,593	17,076
電話加入権	3,085	3,085
その他無形固定資産	50	62
投資その他の資産	382,469	388,391
投資有価証券	51,325	64,518
関係会社株式	117,554	117,554
出資金	200	200
関係会社長期貸付金	14,000	20,000
破産更生債権等	12,873	15,320
長期未収入金	2,406	2,606
差入保証金	12,014	13,126
長期前払費用	3,859	517
繰延税金資産	139,837	131,472
その他投資	45,500	42,639
貸倒引当金	△17,100	△19,564
資産合計	6,456,078	6,655,049

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### POINT

#### ■流動資産

受取手形・売掛金 △150百万円・・・前期末の金融機関の休日が影響。  
たな卸資産 +134百万円・・・主に製品在庫197百万円増加。

#### ■固定資産

有形固定資産 +83百万円・・・土地271百万円増加と減価償却により建物122百万円減、機械及び装置34百万円減等。

(単位：千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(負債の部)		
I 流動負債	1,910,923	2,200,716
買掛金	273,616	676,057
短期借入金	1,158,136	1,143,611
未払金	9,223	9,677
未払法人税等	177,657	9,792
未払消費税等	5,780	40,607
未払費用	235,102	273,665
預り金	13,429	10,563
賞与引当金	35,000	31,000
その他流動負債	2,978	5,741
II 固定負債	2,173,192	2,196,453
長期借入金	1,756,594	1,814,730
役員退職慰勞引当金	392,246	357,371
その他固定負債	24,352	24,352
負債合計	4,084,116	4,397,170
(純資産の部)		
I 株主資本	2,383,868	2,257,827
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,322	366,322
資本準備金	366,322	366,322
利益剰余金	1,565,967	1,439,862
利益準備金	40,200	40,200
その他利益剰余金	1,525,767	1,399,662
固定資産圧縮積立金	48,192	52,366
別途積立金	1,275,000	1,275,000
繰越利益剰余金	202,575	72,296
自己株式	△ 4,271	△ 4,206
II 評価・換算差額等	△ 11,905	51
その他有価証券評価差額金	△ 11,905	51
純資産合計	2,371,962	2,257,879
負債及び純資産合計	6,456,078	6,655,049

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### POINT

#### ■流動負債

買掛金 △402百万円・・・前期末の金融機関の休日が影響。

#### ■固定負債

長期借入金 △58百万円・・・返済により減少。

#### ■純資産

純資産合計 +114百万円・・・当期純利益153百万円の計上や配当金の支払い27百万円等により利益剰余金が126百万円増加。

## 比較損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日~平成20年3月31日)	(平成18年4月1日~平成19年3月31日)
I 売上高	9,372,242	9,269,923
II 売上原価	7,705,551	7,918,805
売上総利益	1,666,691	1,351,118
III 販売費及び一般管理費	1,351,902	1,281,035
営業利益	314,788	70,083
IV 営業外収益	45,160	35,227
V 営業外費用	39,936	29,887
経常利益	320,011	75,423
VI 特別利益	9,994	—
VII 特別損失	1,837	584
税引前当期純利益	328,168	74,838
法人税・住民税及び事業税	172,979	49,270
過年度法人税等	24,800	—
法人税等調整額	△23,500	△3,600
当期純利益	153,888	29,168

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### POINT

#### ■売上高

主に大手製パンメーカーへの販売が増加し、販売数量は3.0%増加。  
販売数量の増加及び茶碗蒸しベースの販売が好調で売上高は1.1%増加。

#### ■売上原価

上期に原料の積極買付けを行ったことにより販売が増加する最需要期の原料コストが抑えられ、年間を通しての売上原価が抑えられた。

#### ■販売・管理費

主に製品在庫増加に伴う保管料の増加。

#### ■特別損益

京都府補助金等。

## 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本剰余金		利益剰余金			
	資本金	資本準備金	利益準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
平成19年3月31日残高	455,850	366,322	40,200	52,366	1,275,000	72,296
事業年度中の変動額						
固定資産圧縮積立金の積立				3,157		△3,157
固定資産圧縮積立金の取崩				△7,331		7,331
剰余金の配当						△27,783
当期純利益						153,888
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度の変動額合計	—	—	—	△4,173	—	130,279
平成20年3月31日残高	455,850	366,322	40,200	48,192	1,275,000	202,575

(単位：千円)

項目	株主資本			評価・換算差額等	純資産合計
	利益剰余金 その他利益剰余金 利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成19年3月31日残高	1,439,862	△4,206	2,257,827	51	2,257,879
事業年度中の変動額					
固定資産圧縮積立金の積立	—		—		—
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—		—
剰余金の配当	△27,783		△27,783		△27,783
当期純利益	153,888		153,888		153,888
自己株式の取得		△65	△65		△65
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				△11,957	△11,957
事業年度の変動額合計	126,105	△65	126,040	△11,957	114,082
平成20年3月31日残高	1,565,967	△4,271	2,383,868	△11,905	2,371,962

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	当期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)	前期 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	171,123	758,066
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△364,199	△119,716
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 71,732	△559,096
IV 現金及び現金同等物の増減額	△264,807	79,254
V 現金及び現金同等物の期首残高	590,499	511,245
VI 現金及び現金同等物の期末残高	325,691	590,499

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### キャッシュ・フローの状況

当期における「現金及び現金同等物の期末残高」は、前期に比べ264百万円減少し、325百万円となりました。

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ586百万円減少し171百万円の収入となりました。これは主に、税引前当期純利益328百万円の計上や減価償却費291百万円、売上債権の減少154百万円等の資金の増加が、仕入債務の減少402百万円、たな卸資産の増加134百万円等による資金の減少を上回ったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ244百万円減少し364百万円の支出となりました。これは主に、福岡新工場用地取得等の有形固定資産取得による支出367百万円によるものであります。

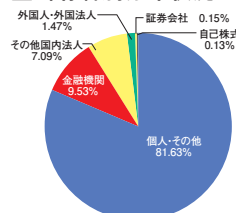
#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ487百万円増加し71百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の増加360百万円及び長期借入金の減少403百万円並びに配当金の支払28百万円によるものであります。

■発行可能株式総数	16,792,000株
■発行済株式の総数	5,556,438株 (自己株式7,142株を除く。)
■株主数	2,650名
■大株主 (上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
藤井徳夫	1,006	18.09
藤井宗徳	711	12.78
藤井泰子	569	10.24
藤井智徳	335	6.03
宇高紫乃	323	5.81
株式会社福岡銀行	229	4.13
株式会社みずほ銀行	125	2.25
中央三井信託銀行株式会社	96	1.73
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリノーザン トラストガンジーノントリーディークライアント	80	1.45
宇高真一	64	1.15

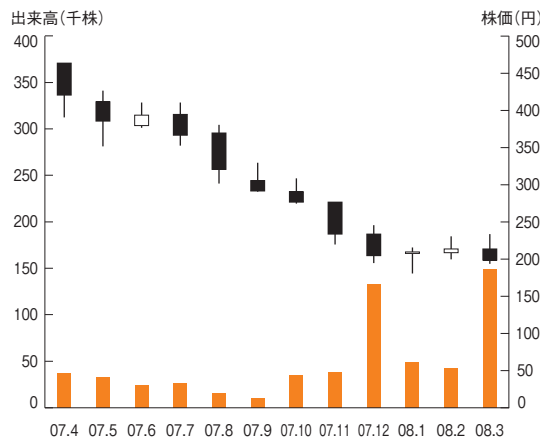
### 所有者別分布状況



所有者区分	持株数(千株)	比率 (%)
個人・その他	4,541	81.63
金融機関	530	9.53
その他国内法人	394	7.09
外国人・外国法人	81	1.47
証券会社	8	0.15
自己株式	7	0.13

(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

### 株価及び株式出来高の推移



商号	イフジ産業株式会社 (英訳名：Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
設立年月日	昭和47年10月3日
資本金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2312 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 TEL092-938-4561 (代)
従業員数	93名 (臨時従業員は除く。)
事業所	福岡事業部 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合藪3-1 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7

代表取締役社長	藤井徳夫
常務取締役	仁田坂 功
常務取締役	池田 賢次郎
常務取締役	藤井 宗徳
取締役	坂本 勇
常勤監査役	具島 輝幸
監査役	酒井 善浩



■本社・福岡事業部



■関東事業部



■関西事業部



■名古屋事業部

## ■主要な事業内容

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売、卵加工品の仕入販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。

## ■液卵の利便性（メリット）

- ①作業効率…割卵の手間が省け効率的・衛生的です。
- ②品質の安定性…バラツキが少なく製品の均質化が図れます。
- ③経済性…鶏卵相場による価格変動に伴って起こる原料費率の不安定さを抑えることができます。
- ④貯蔵性…凍結状態であれば1～2年の保管も可能です。
- ⑤作業環境…殻付卵に比べ容積が1/3程度なので、保管スペースが小さくて済みます。また、卵殻の発生がないため作業環境がよくなります。

## ■商品ラインアップ

### ■液卵・冷凍卵



### ■凍結卵ミニパック



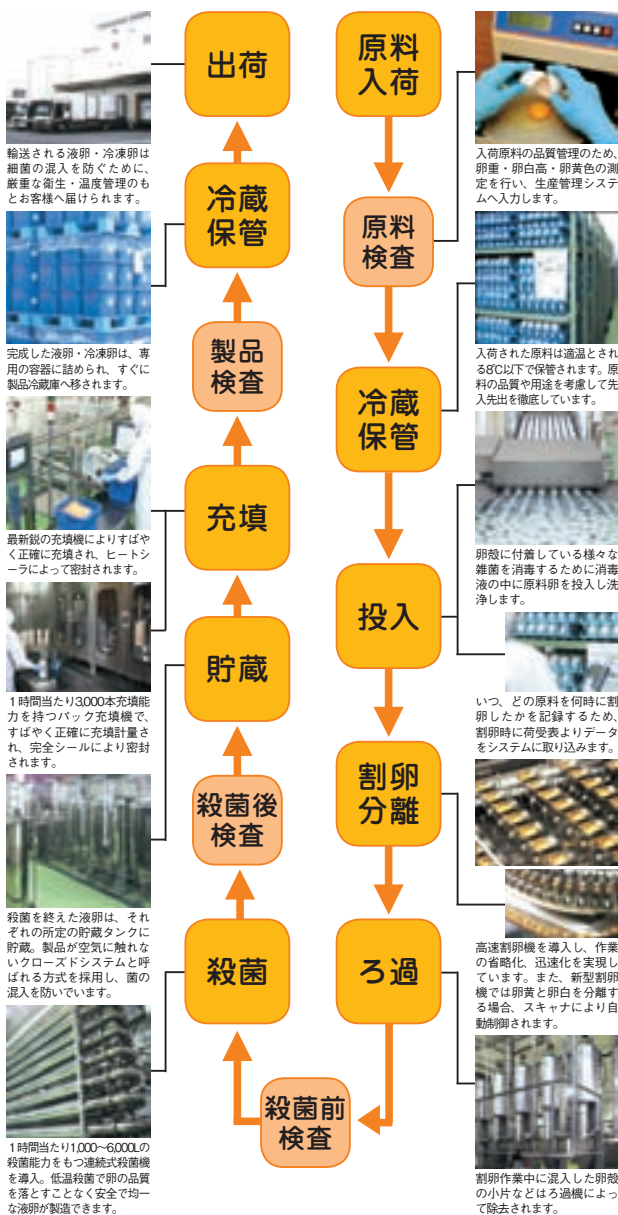
### ■茶碗蒸しベース



## ■液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全 卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、クッキー
卵 黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵 白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

## ■液卵・凍結卵の生産工程（入荷から出荷まで）





## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会関係/3月31日 期末配当金支払株主確定関係/3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は9月30日といたします。
公告掲載方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 (〒105-8574) 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

## お知らせ

住所変更、単元未滿株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)  
ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 株主ご優待について

贈呈基準	毎年3月31日現在の株主及び実質株主に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。 株式数100株以上1,000株未滿 一律500円 (100円券×5枚) 株式数1,000株以上 一律2,000円 (100円券×20枚)
利用方法	全国の主な百貨店及びスーパー等で卵の購入の際利用できます。
有効期限	発行日から5年
取扱店舗	全国の主な百貨店及びスーパー等 (詳しくは同封する書類に記載)



# イフジ産業株式会社

福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 〒811-2312

TEL 092-938-4561 (代) FAX 092-938-5537

URL <http://www.ifuji.co.jp>